



---

## 異文化への扉を開く！留学生の小学校訪問

---

教育学部 講師 篠村 恭子

当研究室では、地域貢献活動の一環として、松江市内の小学校を島根大学で学ぶ留学生と一緒に訪問し、異文化交流活動を行っています。これまでに、インドネシア、マレーシア、ザンビア、スリランカ、バングラデシュ、中国、フランス、ミャンマー、コロンビアからの留学生が小学校訪問に参加し、各国の特色ある文化を写真や実物を見せて紹介したり、子どもたちが日本や松江について授業で学んだ英語を使って紹介したりするなどして異文化交流を楽しみました。

小学校の外国語教育では、英語を学ぶことが多いですが、留学生の母国語のシンハラ語（スリランカ）やベンガル語（バングラデシュ）の文字で、子どもたちが自分の名前を書いてもらうなどした際には、見慣れない文字に驚く様子が見られるなど、世界の様々な言語に触れることもできました。これからの多文化共生社会を生きる子どもたちにとって、異文化への扉をほんの少し開くことのできる活動となっています。

### School Visit

